

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-281461
 (43)Date of publication of application : 03.10.2003

(51)Int.Cl. G06F 19/00

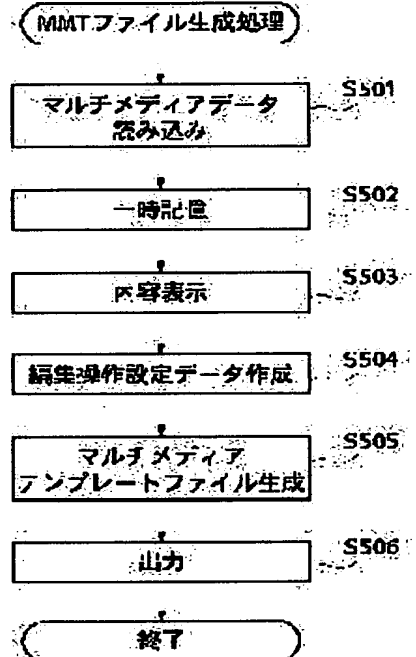
(21)Application number : 2003-020819 (71)Applicant : YAMAHA CORP
 (22)Date of filing : 25.03.2002 (72)Inventor : TAKAHASHI HIROAKI
 NAKAYAMA KAZUNORI
 YAMAURA ATSUSHI
 FUJISHIMA TAKUYA
 NOGUCHI AKANE
 TAKAHASHI TAKUYA

(54) STORAGE MEDIUM, TEMPLATE FILE PREPARATION DEVICE, EDITING DEVICE, DISTRIBUTION SERVER, DISTRIBUTION SYSTEM, PREPARATION PROGRAM AND EDITING PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To give a sense of creative fulfillment brought about by editing operations to a user while keeping the intention of creation as a template by regulating a range where post editing is possible.

SOLUTION: A template file preparation apparatus 10 prepares an MMT file by coordinating and incorporating editing operation setting data for respectively regulating the propriety of post editing and allowable editing mode to existent multimedia data comprising media data obtained by mixing various kinds of media data such as an image, musical sound, a character string and data for regulating the reproduction output timing and reproduction output mode of each media data, that is temporal and spatial arrangement such as where to reproduce, on which position to display, etc. The template file preparation apparatus 10 transmits the MMT file to a distribution server 50. A communication terminal device 20 obtains the MMT file from the distribution server 50, and modifies the multimedia data within a range corresponding editing operation setting data permits.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 10.04.2003
 [Date of sending the examiner's decision of rejection] 25.04.2006
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number]
 [Date of registration]
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection] 2006-10830
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection] 25.05.2006
 [Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号
特開2003-281461
(P2003-281461A)

(43) 公開日 平成15年10月3日 (2003. 10. 3)

(51) Int.Cl.⁷

G 0 6 F 19/00

識別記号

1 4 0

F I

G 0 6 F 19/00

テーマコード (参考)

1 4 0

審査請求 有 請求項の数15 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2003-20819(P2003-20819)
(62) 分割の表示 特願2002-82831(P2002-82831)の分割
(22) 出願日 平成14年3月25日 (2002. 3. 25)

(71) 出願人 000004075
ヤマハ株式会社
静岡県浜松市中沢町10番1号
(72) 発明者 高橋 宏明
静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式会社内
(72) 発明者 中山 和紀
静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式会社内
(74) 代理人 100081880
弁理士 渡部 敏彦

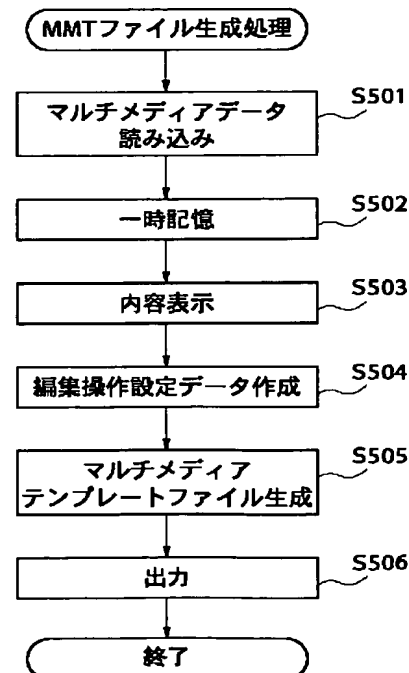
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 記憶媒体、並びにテンプレートファイル作成装置、編集装置、配信サーバ、配信システム、作成プログラム及び編集プログラム

(57) 【要約】

【課題】 事後編集可能な範囲を規定して、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザに編集操作による創作達成感を与える。

【解決手段】 テンプレート作成装置10は、画像、楽音、文字列等の各種種類のメディアデータが混合されたメディアデータと、各メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様、すなわち、いつ再生しどの位置に表示する等の時間的空間的な配置を規定するデータとを含む既成のマルチメディアデータに、事後的な編集の可否、及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データに対応させて組み込むことで、MMTファイルを生成し、配信サーバ50に送信する。通信端末装置20は配信サーバ50からMMTファイルを取得し、対応する編集操作設定データが許容する範囲内でマルチメディアデータに改変を加えることで、編集を行う。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを記憶したことを特徴とする記憶媒体。

【請求項 2】 前記編集操作設定データは、可変対象のメディアデータとその可変態様とを規定することを特徴とする請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 3】 前記編集操作設定データは、前記シーケンスデータの変更を許容することで、可変対象のメディアデータを規定すると共に、該可変対象のメディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様の少なくとも一方の変更を許容することを特徴とする請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 4】 前記マルチメディアテンプレートファイルには、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで選択的に再生されることが規定された複数のメディアデータが予め含まれ、前記編集操作設定データは、前記複数のメディアデータの中から前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力されるべきメディアデータを選択することを許容することを特徴とする請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 5】 前記編集操作設定データは、前記シーケンスデータによって規定される特定の再生出力タイミングで再生されるべきメディアデータとして、事後的に取得される代替メディアデータを適用することを許容することを特徴とする請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 6】 前記編集操作設定データは、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで再生されることが規定されたメディアデータについて、前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力するか否かを選択することを許容することを特徴とする請求項 1 記載の記憶媒体。

【請求項 7】 再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータを取得するマルチメディアデータ取得手段と、

前記マルチメディアデータ取得手段により取得されたマルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データを作成する設定データ作成手段と、

前記取得されたマルチメディアデータと前記設定データ作成手段により作成された編集操作設定データとを対応付けてマルチメディアテンプレートファイルを生成するテンプレートファイル生成手段とを有することを特徴と

するテンプレートファイル作成装置。

【請求項 8】 再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを取得するテンプレートファイル取得手段と、

前記テンプレートファイル取得手段により取得されたマルチメディアテンプレートファイル内の編集操作設定データに基づいて、前記マルチメディアテンプレートファイル内のマルチメディアデータに関する編集可能な内容を提示する提示手段と、

前記提示手段による提示内容に従って、前記マルチメディアデータに対する編集操作を受け付ける編集操作受付手段と、

前記編集操作設定データにより許可される範囲内において、前記編集操作受付手段により受け付けられた編集操作に基づいて、前記マルチメディアデータを改変するデータ改変手段とを有することを特徴とするテンプレートファイル編集装置。

【請求項 9】 前記マルチメディアテンプレートファイルには、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで選択的に再生されることが規定された複数のメディアデータが予め含まれ、前記データ改変手段は、前記複数のメディアデータの中から前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力されるべきメディアデータを選択することで、前記マルチメディアデータを改変することを特徴とする請求項 8 記載のテンプレートファイル編集装置。

【請求項 10】 代替メディアデータを取得する代替メディアデータ取得手段を有し、前記データ改変手段は、前記シーケンスデータによって規定される特定の再生出力タイミングで再生されるべきメディアデータとして、前記代替メディアデータ取得手段により取得された代替メディアデータを適用することで、前記マルチメディアデータを改変することを特徴とする請求項 8 記載のテンプレートファイル編集装置。

【請求項 11】 前記データ改変手段は、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで再生されることが規定されたメディアデータについて、前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力するか否かを選択することで、前記マルチメディアデータを改変することを特徴とする請求項 8 記載のテンプレートファイル編集装置。

【請求項 12】 端末装置を通信可能に接続するテンプレートファイル配信サーバであって、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定す

るシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを、前記端末装置に配信するデータ配信手段を有することを特徴とするテンプレートファイル配信サーバ。

【請求項 13】 テンプレートファイル配信サーバとテンプレートファイル編集装置とが通信可能に接続されて構成されるテンプレートファイル配信システムであつて、

前記テンプレートファイル配信サーバは、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを、前記テンプレートファイル編集装置に配信するデータ配信手段を有し、

前記テンプレートファイル編集装置は、前記テンプレートファイル配信サーバの前記データ配信手段により配信されるマルチメディアテンプレートファイルを受信することで前記マルチメディアテンプレートファイルを取得するテンプレートファイル取得手段と、

前記テンプレートファイル取得手段により取得されたマルチメディアテンプレートファイル内の編集操作設定データに基づいて、前記マルチメディアテンプレートファイル内のマルチメディアデータに関する編集可能な内容を提示する提示手段と、

前記提示手段による提示内容に従って、前記マルチメディアデータに対する編集操作を受け付ける編集操作受付手段と、

前記編集操作設定データにより許可される範囲内において、前記編集操作受付手段により受け付けられた編集操作に基づいて、前記マルチメディアデータを改変するデータ改変手段とを有することを特徴とするテンプレートファイル配信システム。

【請求項 14】 再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータを取得するマルチメディアデータ取得ステップと、

前記マルチメディアデータ取得ステップにより取得されたマルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データを作成する設定データ作成ステップと、

前記取得されたマルチメディアデータと前記設定データ作成ステップにより作成された編集操作設定データとを対応付けてマルチメディアテンプレートファイルを生成するテンプレートファイル生成ステップとをコンピュー

タに実行させることを特徴とするテンプレートファイル作成プログラム。

【請求項 15】 再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを取得するテンプレートファイル取得ステップと、

前記テンプレートファイル取得ステップにより取得されたマルチメディアテンプレートファイル内の編集操作設定データに基づいて、前記マルチメディアテンプレートファイル内のマルチメディアデータに関する編集可能な内容を提示する提示ステップと、

前記提示ステップによる提示内容に従って、前記マルチメディアデータに対する編集操作を受け付ける編集操作受付ステップと、

前記編集操作設定データにより許可される範囲内において、前記編集操作受付ステップにより受け付けられた編集操作に基づいて、前記マルチメディアデータを改変するデータ改変ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とするテンプレートファイル編集プログラム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術の分野】本発明は、画像、音声、文字列等、発音や可視表示等によって再生出力可能な多種類のメディアデータを扱う記憶媒体、並びにテンプレートファイル作成装置、編集装置、配信サーバ、配信システム、作成プログラム及び編集プログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】従来、画像、音声、文字列等、発音や可視表示等によって再生出力可能な多種類のメディアデータで成るマルチメディアデータが提供され、携帯電話の着信メロディ乃至着画、電子メール等、各種場面で利用されている。

【0003】このマルチメディアデータを作成する装置としては、例えば、サーバに用意された画像及び音声から成るメディアデータに、作成者が文字列を追加してマルチメディアデータを完成させ、これをサーバ上に蓄えて、特定のユーザに閲覧させる技術が提案されている

(特開平 11-203217 号公報) (第 1 の従来技術)。また、携帯情報端末装置に内蔵されたカメラで撮像した画像に文字列や枠等を上書きすることで、独自のマルチメディアデータを作成し、これを他の端末装置に送信できるというサービスも知られている (第 2 の従来技術)。

【0004】しかしながら、これら第 1、第 2 の従来技術では、作成されたマルチメディアデータに、それを取

としておらず、例えば、ユーザは閲覧することができるのみである。

【0005】一方、作成されたマルチメディアデータをユーザが利用する際に、ある程度の自由度を設けるようにした装置やサービスも知られている。例えば、第3の従来技術では、データ呈示の手順や態様をスクリプトとして装置に内蔵させることで、ユーザによって入力された値に応じてデータ表示の態様を変化させるようにしている。また、番組供給サイトが、性質の異なる複数種類のコンテンツと、その再生順を規定した番組ファイルとを記憶し、クライアントにコンテンツを伝送し再生させるシステムも知られている（第4の従来技術）（特開2001-36423号公報）。この技術では、クライアントは、上記番組供給サイトから番組ファイルを取得し、番組ファイルが規定する再生順にコンテンツを順次上記番組供給サイトから取得して番組再生するようにしている。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記第3の従来技術では、ユーザは、可能な再生態様の1つを選択できるだけであり、マルチメディアデータを定着、保存、出力等のために編集することはできない。また、第4の従来技術では、ユーザは、所望の番組ファイルを取得することで、コンテンツの再生順を選択できるだけであり、コンテンツ自体を改変、編集することはできない。そのため、第3、第4の従来技術では、ユーザは、マルチメディアデータ等を自分のアイデアによって改変することで、新たなマルチメディアデータを創作したという創作達成感が得られない。

【0007】特に近年、各メディアデータの再生タイミングや表示位置等まで規定されたマルチメディアデータは、創作作品としての価値を持ち始めている。一方で、多様なユーザの嗜好に応えるべく、各ユーザによる創作余地をある程度残し、マルチメディアデータを一種のテンプレートとして提供して、ユーザに創作達成感を与えることができれば利用価値が一層高まることが期待される。

【0008】ここで、マルチメディアデータを、例えば編集自由な素材集のような形態で提供し、ユーザに改変や組み合わせを任意に行わせて、新たなマルチメディアデータの作成を可能にするサービスも考えられる。しかしながら、その場合は、基幹となる部分に変更が加えられることもあり、マルチメディアデータ提供者側の創作意図の維持は保障されない。また、改変の自由度が大きすぎることで、慣れないユーザにとっては編集操作が容易でないという不都合もある。

【0009】本発明は上記従来技術の問題を解決するためになされたものであり、その目的は、事後編集可能な範囲を規定して、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザに編集操作による創作達成感を与えること

ができる記憶媒体、並びにテンプレートファイル作成装置、編集装置、配信サーバ、配信システム、作成プログラム及び編集プログラムを提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために本発明の請求項1の記憶媒体は、再生出力可能な少なくとも1種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを記憶したことを特徴とする。

【0011】この構成によれば、例えば、基幹部分の改変を禁止すると共に、それ以外では改変可能にすることで、事後編集可能な範囲を規定して、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザに編集操作による創作達成感を与えることができる。

【0012】また、上記請求項1記載の構成において、前記編集操作設定データは、可変対象のメディアデータとその可変態様とを規定するようにしてもよい。

【0013】また、上記請求項1記載の構成において、前記編集操作設定データは、前記シーケンスデータの変更を許容することで、可変対象のメディアデータを規定すると共に、該可変対象のメディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様の少なくとも一方の変更を許容するようにしてもよい。

【0014】また、上記請求項1記載の構成において、前記マルチメディアテンプレートファイルには、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで選択的に再生されることが規定された複数のメディアデータが予め含まれ、前記編集操作設定データは、前記複数のメディアデータの中から前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力されるべきメディアデータを選択することを許容するようにしてもよい。

【0015】また、上記請求項1記載の構成において、前記編集操作設定データは、前記シーケンスデータによって規定される特定の再生出力タイミングで再生されるべきメディアデータとして、事後的に取得される代替メディアデータを適用することを許容するようにしてもよい。

【0016】また、上記請求項1記載の構成において、前記編集操作設定データは、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで再生されることが規定されたメディアデータについて、前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力するか否かを選択することを許容するようにしてもよい。

【0017】上記目的を達成するために本発明の請求項7のテンプレートファイル作成装置は、再生出力可能な少なくとも1種類のメディアデータと該メディアデータ

の再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータを取得するマルチメディアデータ取得手段と、前記マルチメディアデータ取得手段により取得されたマルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データを作成する設定データ作成手段と、前記取得されたマルチメディアデータと前記設定データ作成手段により作成された編集操作設定データとを対応付けてマルチメディアテンプレートファイルを生成するテンプレートファイル生成手段とを有することを特徴とする。この構成によれば、請求項 1 と同様の作用効果を奏する。

【0018】上記目的を達成するために本発明の請求項 8 のテンプレートファイル編集装置は、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを取得するテンプレートファイル取得手段と、前記テンプレートファイル取得手段により取得されたマルチメディアテンプレートファイル内の編集操作設定データに基づいて、前記マルチメディアテンプレートファイル内のマルチメディアデータに関する編集可能な内容を提示する提示手段と、前記提示手段による提示内容に従って、前記マルチメディアデータに対する編集操作を受け付ける編集操作受付手段と、前記編集操作設定データにより許可される範囲内において、前記編集操作受付手段により受け付けられた編集操作に基づいて、前記マルチメディアデータを改変するデータ改変手段とを有することを特徴とする。

【0019】この構成によれば、例えば、基幹部分の改変を禁止すると共に、改変可能な対象や内容を明確にすることで、予め規定した範囲での編集操作を許容して、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザには手軽な編集操作にて編集操作による創作達成感を与えることができる。

【0020】また、上記請求項 8 記載の構成において、前記マルチメディアテンプレートファイルには、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで選択的に再生されることが規定された複数のメディアデータが予め含まれ、前記データ改変手段は、前記複数のメディアデータの中から前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力されるべきメディアデータを選択することで、前記マルチメディアデータを改変するようにしてもよい。

【0021】また、上記請求項 8 記載の構成において、代替メディアデータを取得する代替メディアデータ取得手段を有し、前記データ改変手段は、前記シーケンスデ

ータによって規定される特定の再生出力タイミングで再生されるべきメディアデータとして、前記代替メディアデータ取得手段により取得された代替メディアデータを適用することで、前記マルチメディアデータを改変するようにしてもよい。

【0022】また、上記請求項 8 記載の構成において、前記データ改変手段は、前記シーケンスデータによって特定の再生出力タイミングで再生されることが規定されたメディアデータについて、前記特定の再生出力タイミングで実際に再生出力するか否かを選択することで、前記マルチメディアデータを改変するようにしてもよい。

【0023】なお、前記データ改変手段による改変途中のマルチメディアデータをプレビューにより再生出力可能に構成するのが望ましい。なお、請求項 8～11 のいずれか 1 項に記載のテンプレートファイル編集装置における編集処理を、配信サーバ側で行うように構成してもよい。その場合は、編集操作を入力可能な端末装置を配信サーバに通信可能に接続し、前記提示手段が、編集可能な内容をその端末装置に対して提示し、且つ、前記編集操作受付手段が、前記端末装置からコマンドを受けることで編集操作を受け付けるように構成すればよい。なお、請求項 7 記載のテンプレートファイル作成装置を請求項 8～11 のいずれか 1 項に記載のテンプレートファイル編集装置が兼用するようにしてもよい。

【0024】上記目的を達成するために本発明の請求項 12 のテンプレートファイル配信サーバは、端末装置を通信可能に接続するテンプレートファイル配信サーバであって、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを、前記端末装置に配信するデータ配信手段を有することを特徴とする。この構成によれば、請求項 1 と同様の作用効果を奏する。

【0025】なお、上記端末装置は、例えば、請求項 8～11 のいずれか 1 項に記載のテンプレートファイル編集装置である。

【0026】上記目的を達成するために本発明の請求項 13 のテンプレートファイル配信システムは、テンプレートファイル配信サーバとテンプレートファイル編集装置とが通信可能に接続されて構成されるテンプレートファイル配信システムであって、前記テンプレートファイル配信サーバは、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマ

ルチメディアテンプレートファイルを、前記テンプレートファイル編集装置に配信するデータ配信手段を有し、前記テンプレートファイル編集装置は、前記テンプレートファイル配信サーバの前記データ配信手段により配信されるマルチメディアテンプレートファイルを受信することで前記マルチメディアテンプレートファイルを取得するテンプレートファイル取得手段と、前記テンプレートファイル取得手段により取得されたマルチメディアテンプレートファイル内の編集操作設定データに基づいて、前記マルチメディアテンプレートファイル内のマルチメディアデータに関する編集可能な内容を提示する提示手段と、前記提示手段による提示内容に従って、前記マルチメディアデータに対する編集操作を受け付ける編集操作受付手段と、前記編集操作設定データにより許可される範囲内において、前記編集操作受付手段により受け付けられた編集操作に基づいて、前記マルチメディアデータを改変するデータ改変手段とを有することを特徴とする。この構成によれば、請求項 8 と同様の作用効果を奏する。

【0027】上記目的を達成するために本発明の請求項 14 のテンプレートファイル作成プログラムは、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータを取得するマルチメディアデータ取得ステップと、前記マルチメディアデータ取得ステップにより取得されたマルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データを作成する設定データ作成ステップと、前記取得されたマルチメディアデータと前記設定データ作成ステップにより作成された編集操作設定データとを対応付けてマルチメディアテンプレートファイルを生成するテンプレートファイル生成ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。この構成によれば、請求項 1 と同様の作用効果を奏する。

【0028】上記目的を達成するために本発明の請求項 15 のテンプレートファイル編集プログラムは、再生出力可能な少なくとも 1 種類のメディアデータと該メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様をそれぞれ規定するシーケンスデータとで成るマルチメディアデータと、前記マルチメディアデータの編集の可否及び許可される編集態様をそれぞれ規定する編集操作設定データとを対応付けて構成したマルチメディアテンプレートファイルを取得するテンプレートファイル取得ステップと、前記テンプレートファイル取得ステップにより取得されたマルチメディアテンプレートファイル内の編集操作設定データに基づいて、前記マルチメディアテンプレートファイル内のマルチメディアデータに関する編集可能な内容を提示する提示ステップと、前記提示ステップによる提示内容に従って、前記マルチメディアデータ

に対する編集操作を受け付ける編集操作受付ステップと、前記編集操作設定データにより許可される範囲内において、前記編集操作受付ステップにより受け付けられた編集操作に基づいて、前記マルチメディアデータを改変するデータ改変ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。この構成によれば、請求項 8 と同様の作用効果を奏する。

【0029】なお、上記各請求項において、「再生出力態様」は、メディアデータの種類に応じて規定され、例えば、音声データの発音音量や可視用データの表示位置等である。

【0030】なお、請求項 14 または 15 記載のプログラムを格納したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体は、本発明を構成する。

【0031】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面を参照して説明する。

【0032】図 1 は、本発明の一実施の形態に係るテンプレートファイル配信システムの全体構成を示すブロック図である。本システムは、テンプレート作成装置 10（テンプレートファイル作成装置）及び通信端末装置 20（テンプレートファイル編集装置）が、インターネット等の通信回線 40 を介して配信サーバ 50（テンプレートファイル配信サーバ）にデータ通信可能に接続されて構成される。なお、テンプレート作成装置 10、通信端末装置 20 は、同様の構成のものが通信回線 40 に複数接続されていてもよい。配信サーバ 50 は、不図示の通信インターフェイス（データ配信手段）によって、通信回線 40 に接続されている。

【0033】図 2 は、テンプレート作成装置 10 の内部構成を示すブロック図である。テンプレート作成装置 10 は、既成のマルチメディアデータから、後述するマルチメディアテンプレートファイル（以下、「MMT ファイル」と称する）を生成し、出力する機能を有する装置である。ここで、マルチメディアデータは、画像、楽音、文字列等の各種種類のメディアデータが混合されたデータであり、これらのメディアデータと時間空間配置データ（シーケンスデータ）とで構成されている。時間空間配置データは、各メディアデータの再生出力タイミング及び再生出力態様、すなわち、いつ再生し、どの位置に表示するか等の時間的空間的配置を規定するデータである。

【0034】なお、「再生出力タイミング」では再生開始時期が定まるが、再生終了時期も定まるようにしてもよい。また、「再生出力態様」は、メディアデータの種類に応じて規定され、例えば、メディアデータが楽音データ（MIDI データ、波形データを問わない）である場合は、発音音量、音響効果の付与等が要素となり、メディアデータが画像、文字列等の可視用データである場合は、それらの画面上の表示位置、表示の大きさ、表示

色等が要素となり、メディアデータが後述する振動子 32 を振動させるための信号である場合は、振動子 32 の振動の大きさや態様等が要素となり、メディアデータが後述する発光素子 33 を発光させるための信号であれば、発光素子 33 の明るさ、色、発光態様等が要素となる。なお、メディアデータは、振動子用や発光素子用の信号を含め、これら例示したものに限定されるものではない。

【0035】テンプレート作成装置 10 は、読込部 11 (マルチメディアデータ取得手段) に、一時記憶部 12 及び編集操作設定データ組込部 13 (テンプレートファイル生成手段) を介してマルチメディアテンプレートファイル出力部 14 が直列に接続されて構成される。また、一時記憶部 12 には表示部 15 が接続され、さらに操作入力部 16 が編集操作設定データ作成部 17 (設定データ作成手段) を介して編集操作設定データ組込部 13 に接続されている。

【0036】読込部 11 は、不図示の記憶装置または通信インターフェイスで構成され、記憶媒体から、または通信により、マルチメディアデータを読み込む。一時記憶部 12 は、RAM 等で構成され、読み込まれたマルチメディアデータを一時的に記憶する。表示部 15 は LCD 等で構成され、各種情報を表示し、例えば、一時記憶部 12 に記憶されたマルチメディアデータの内容を表示する。操作入力部 16 はキーボード等で構成され、本テンプレート作成装置 10 を用いて MMT ファイルの作成を行うオペレータ (以下、「クリエイタ」と称する) が指示や設定等の入力操作を行うために用いられる。

【0037】編集操作設定データ作成部 17 は、後述する編集操作設定データを作成し、編集操作設定データ組込部 13 は、作成された編集操作設定データを上記読み込まれたマルチメディアデータに組み込むことで、MMT ファイルを生成する。マルチメディアテンプレートファイル出力部 14 は、不図示の通信インターフェイスまたは記憶装置を含み、生成された MMT ファイルを、記憶装置に記憶または外部に出力し、例えば、通信回線 40 を介して配信サーバ 50 に送信する。なお、テンプレート作成装置 10 の全体の制御は、不図示の CPU が行う。また、CPU が実行する制御プログラムは、不図示の ROM またはハードディスク等に格納されている。

【0038】図 3 は、通信端末装置 20 の内部構成を示すブロック図である。通信端末装置 20 は、例えば、携帯電話として構成され、配信サーバ 50 から配信された MMT ファイルを編集する機能を有する。

【0039】通信端末装置 20 は、制御部 21 (データ改変手段) に、通信インターフェイス (I/F) 22 (テンプレートファイル取得手段、代替メディアデータ取得手段の一部)、内部記憶装置 23、操作子 24 (編集操作受付手段)、一時記憶部 25、再生制御部 26、局所通信部 27 及び外部記憶装置 28 (いずれも代替メ

ディアデータ取得手段の一部) が、バス 29 で接続されて構成される。また、再生制御部 26 には、マルチメディアデータを再生出力するためのデバイス群である画像表示部 30 (提示手段)、音声出力器 31、振動子 32 及び発光素子 33 が接続されている。画像表示部 30 は LCD 等で構成され、音声出力器 31 は、音源回路及びサウンドシステム等で構成される。

【0040】制御部 21 は、CPU のほか、ワークメモリとしての RAM、及び CPU が実行する制御プログラムを格納する ROM 等で構成される (いずれも図示せず)。通信 I/F 22 は、通信回線 40 を介して本通信端末装置 20 を配信サーバ 50 に接続する。内部記憶装置 23 は、フラッシュメモリ等で構成され、取得した未編集の MMT ファイル 36、編集済みの MMT ファイル 38、素材としての各種メディアデータ 37 等、各種データを保存する。操作子 24 は、キーやタッチパネル等で構成され、MMT ファイルの編集者である本通信端末装置 20 のオペレータ (以下、「ユーザ」と称する) による入力操作を受け付ける。一時記憶部 25 は、RAM 等で構成され、取得した未編集の MMT ファイル 35、編集に用いる各種メディアデータ 39 等、各種データを一時的に記憶する。

【0041】なお、MMT ファイルは、例えば、配信サーバ 50 から通信回線 40 を介して通信 I/F 22 により受信することで取得され、まずは未編集の MMT ファイル 36 として内部記憶装置 23 に記憶される。あるいは、局所通信部 27 や外部記憶装置 28 から読み込むことで取得してもよい。また、一時記憶部 25 内の MMT ファイル 35 は、通常は、内部記憶装置 23 に記憶されている MMT ファイル 36 を編集のために読み込んだものが該当するが、通信 I/F 22、局所通信部 27、外部記憶装置 28 から直接読み込んだものであってもよい。ただし、これら MMT ファイル 35、36 の取得のルートは限定されない。

【0042】なお、メディアデータ 37 は、通信 I/F 22 を通じて配信サーバ 50 から素材として受信したり、ユーザがカメラ撮像した画像を局所通信部 27 や外部記憶装置 28 から読み込んだりすることで得られる。また、メディアデータ 39 は、通常は、MMT ファイルの編集時に内部記憶装置 23 からメディアデータ 37 を読み出したものが該当する。ただし、これらメディアデータ 37、39 の取得のルートは限定されない。

【0043】再生制御部 26 は、メディアデータに基づいて、画像表示部 30、音声出力器 31、振動子 32 及び発光素子 33 を制御する。例えば、楽音データに、必要に応じて各種効果を付与し、音響に変換して音声出力器 31 から発音させる。あるいは、画像、文字列を画像表示部 30 の適切な位置に表示させたり、振動子 32 を振動させたり、発光素子 33 を発光させたりする。局所通信部 27 は、USB (ユニバーサル・シリアル・バ

ス)、IEEE1394(アイトリプリー1394)、LAN、Bluetooth(登録商標)等の近距離データ通信を行う手段である。外部記憶装置28は、メモリカード、フロッピー(登録商標)ディスクやCD-R等の可搬記憶媒体34に各種データを記憶させることができる。

【0044】図4は、MMTファイルの構成を示す概念図である。同図(a)はMMTファイルのデータ構成を示し、同図(b)は、編集操作設定データで規定されるMMTファイル中の各メディアデータの時間的空間的配置状態を視覚的に示す。特に、各時間空間配置データ#は、再生出力タイミング順に時系列的に示されている。

【0045】同図(a)に示すように、MMTファイルは、時間空間配置データ及びメディアデータから成るマルチメディアデータに、編集操作設定データが対応して付加され(組み込まれ)構成される。ここで、編集操作設定データは、対応するマルチメディアデータの事後的な編集の可否、及び許可される編集態様をそれぞれ規定するものである。MMTファイルを編集するユーザからみれば、編集操作設定データは、可変対象のメディアデータとその可変態様とを規定するものともいえる。具体的には、編集操作設定データは、次の(a)~(d)のような内容を規定する。

【0046】(a)時間空間配置データ#1で示す再生出力タイミングで再生出力可能なメディアデータは、画像aまたは画像bであり、これらのうちいずれかを任意に選択可能である。

【0047】(b)時間空間配置データ#2で示す再生出力タイミングで再生出力可能なメディアデータは、画像bであるが、画像bを実際に表示するか否かは任意に選択可能である。

【0048】(c)時間空間配置データ#3で示す再生出力タイミングで再生出力可能なメディアデータは、現在未規定(あるいは何らかのメディアデータが規定)であるが、再生出力されるべきメディアデータとして、ユーザが事後的に取得した任意の代替メディアデータを適用(あるいは規定済みのメディアデータを代替メディアデータに置換)してもよい。

【0049】(d)時間空間配置データ#4で示す再生出力タイミングで再生出力可能なメディアデータは、文字列aであるが、この文字列aの表示タイミング及び表示位置の少なくとも一方を所定の範囲内で変更してもよい。

【0050】なお、時間空間配置データ#5、#6は、それぞれ波形a、波形bを規定するが、これらについては、編集操作設定データによって可変対象と規定されておらず、従って、ユーザが事後的に改変することはできない。このような改変が禁止されたメディアデータは、MMTファイルのクリエイタにとっては、自己の創作意図として残しておきたい基幹部分に適用することが可能

であり、これにより、例えば、テンプレートとしての創作意図の維持が可能となる。

【0051】なお、これらは例示であり、マルチメディアデータに対してユーザが行い得るあらゆる編集操作を編集操作設定データとして規定することができる。

【0052】図5は、テンプレート作成装置10で実行されるMMTファイル生成処理のフローチャートを示す図である。

【0053】まず、読込部11によりマルチメディアデータが読み込まれ(ステップS501)、読み込まれたマルチメディアデータが一時記憶部12に記憶される(ステップS502)。次に、一時記憶部12に記憶されたマルチメディアデータが、クリエイタにわかりやすい形に整形されて、表示部15に表示される。例えば、図4(b)に示すMMTファイル中のマルチメディアデータ部分のように、どのメディアデータがどのタイミングで再生出力されるか等が視覚的にわかるように表示される。

【0054】クリエイタは、表示されたマルチメディアデータを見て、操作入力部16にて、どのメディアデータについてどのような編集を許可するのかに関する指示を入力する。この指示入力に従って、編集操作設定データ作成部17により、上記(a)~(d)に例示したような内容の編集操作設定データが作成される(ステップS504)。次に、編集操作設定データ組込部13により、上記作成された編集操作設定データが、上記読み込まれ記憶されたマルチメディアデータに組み込まれることで、MMTファイルが生成される(ステップS505)。そして、生成されたMMTファイルが、マルチメディアテンプレートファイル出力部14によって出力される(ステップS506)。本実施の形態では、通信回線40を介して配信サーバ50に送信される。その後、本処理を終了する。

【0055】図6は、通信端末装置20で実行されるMMTファイル編集処理のフローチャートを示す図である。

【0056】まず、MMTファイルを読み出す(ステップS601)。すなわち、事前に取得され内部記憶装置23に記憶されている未編集のMMTファイル36を読み出す。次に、上記読み出したMMTファイル36を、MMTファイル35として一時記憶部25に記憶させる(ステップS602)。なお、上述したように、MMTファイル35中には、マルチメディアデータと編集操作設定データとが含まれており、これらが対応関係を保ちながら記憶される。

【0057】次に、編集対象となっているMMTファイルについてユーザが編集可能な内容を、上記記憶された編集操作設定データに基づいて画像表示部30に表示させる(ステップS603)。例えば、「行える編集操作は次の通りです」とのメッセージに続けて、上記内容

(a) ~ (d) の具体例に対応し、次のようなメッセージ (A) ~ (D) が列挙される。なお、ここでは、各時間空間配置データ # n で規定される再生出力タイミングを「タイミング # n」と表す。

【0058】 (A) 「タイミング # 1」で再生出力可能なメディアデータとして、画像 a または画像 b のいずれかが選択できます。いずれを選択しますか？」

(B) 「タイミング # 2」で画像 b を表示する／しないのいずれかを選択できます。いずれを選択しますか？」

(C) 「タイミング # 3」では任意の代替メディアデータを再生出力するように設定できます。あるいは、現在規定されているメディアデータに代えて、任意の代替メディアデータを再生出力するように設定できます。代替メディアデータを設定しますか？なお、設定可能な代替メディアデータは、「x x x」、「y y y」、「z z z」です。

【0059】 (D) 「タイミング # 4」で表示される文字列 a については、表示タイミング及び表示位置を変更できます。表示タイミングは早くまたは遅くできます。表示位置は、上下左右、右上、右下、左上、左下のいずれかの方向へ移動できます。変更しますか？なお、編集可能な内容はユーザにわかるように提示されればよく、上記のような例示の態様に限られない。また、「x x x」等のメディアデータは、例えば、一時記憶部 25 内に記憶されているメディアデータ 39 等である。また、上記メッセージ (D) に対しては、ユーザは、表示タイミング及び表示位置の変更量の値を入力する。なお、編集操作に関する指示は、操作子 24 を用いて入力可能である。

【0060】次に、ユーザからの編集操作の入力を待ち、入力があったか否かを判別し (ステップ S 604)、入力が無かった場合はステップ S 606 に進む一方、入力があった場合は、それに従って、MMT ファイル内のマルチメディアデータを改変して (ステップ S 605)、前記ステップ S 606 に進む。例えば、メッセージ (A) に対して、ユーザが画像 a を選択すると、「タイミング # 1」では画像 a のみが表示されるように改変される。マルチメディアデータの改変は、時間空間配置データ # 1 を改変することで行うことができ、表示対象外となった画像 b をマルチメディアデータから削除する処理を行う必要はない。特に、アンドゥ処理を設ける場合や、その後に他のユーザによる復元やさらなる編集の余地を残す場合に対応するためにも、メディアデータ自体は残しておくのが望ましい。

【0061】同様に、メッセージ (B) に対して、例えば、ユーザが「表示しない」を選択すると、「タイミング # 2」では画像 b が表示されないように改変される。また、メッセージ (C) に対して、例えば、ユーザが「x x x」を代替メディアデータとして設定することを指示すると、「タイミング # 3」では「x x x」が再生

出力されるように改変される。また、メッセージ (D) に対して、例えば、ユーザが文字列 a の表示タイミングを指定時間だけ早く、そして表示位置を指定量だけ右上に移動することを指示すると、「タイミング # 4」で文字列 a が、当初の設定よりも指定時間だけ早く指定量だけ右上の位置に表示されるように改変される。

【0062】ステップ S 606 では、ユーザからプレビューの指示がされたか否かを判別する。その判別の結果、プレビューの指示がされない場合は、ステップ S 608 に進む一方、プレビューの指示がされた場合は、プレビュー処理を行って (ステップ S 607)、前記ステップ S 608 に進む。ここでいうプレビュー処理は、編集途中のマルチメディアデータを再生出力することであり、各メディアデータに従って、再生制御部 26 による制御によって、画像表示部 30、音声出力器 31、振動子 32 及び発光素子 33 のうち該当する要素が動作する。これにより、ユーザは、編集状況を随時確認し、さらなる改変を行うかどうかを判断することができる。

【0063】ステップ S 608 では、編集処理を終了する指示がなされたか否かを判別し、なされない場合は前記ステップ S 603 に戻る。なお、一旦改変がなされたマルチメディアデータであっても、編集操作設定データが許容する範囲であれば、同じ箇所について何回でも改変が可能であり、元に戻すことも可能である。従って、前記ステップ S 603 では、編集可能な内容に加えて、現在の選択状況をもわかるように提示するのが望ましい。

【0064】一方、編集処理を終了する指示がなされた場合は、改変された編集済みの MMT ファイルの出力指定を受け付ける (ステップ S 609)。この出力指定としては、例えば、通信 I / F 22 または局所通信部 27 を通じた外部装置への送信、内部記憶装置 23 への編集済み MMT ファイル 38 としての記憶、外部記憶装置 28 を介した可搬記憶媒体 34 への記憶が選択可能である。次に、出力指定に従って、編集済みの MMT ファイルを出力して (ステップ S 610)、本処理を終了する。

【0065】なお、本実施の形態では、編集済みの MMT ファイル自体 (編集操作設定データが付随している) を出力するようにし、他のユーザ (例えば、他の通信端末装置 20 のオペレータ) が、編集操作設定データで許容される範囲内で同様の編集操作を行えるようにしたが、編集済みの MMT ファイル中の編集操作設定データを除いた編集済みのマルチメディアデータのみを出力し、他のユーザには再編集ができないようにしてもよい。また、これらいずれの出力態様を採用するかは、ユーザが任意に決定できるようにしてもよいが、通信端末装置 20 が MMT ファイルを取得した時点でその MMT ファイルに含まれる所定の出力設定情報 (クリエータによって挿入される) によって自動的に決定されるように

してもよい。また、上記所定の出力設定情報で、編集後のマルチメディアデータ乃至MMTファイルの出力先を、内部記憶のみ許容し外部転送は禁止、等のように規定できるように構成し、それによって、前記ステップS609における出力指定の範囲が限定されるようにしてもよい。

【0066】本実施の形態によれば、既成のマルチメディアデータに事後的な編集の可否、及び許可される編集態様を規定する編集操作設定データを対応させて付加したMMTファイルを生成すると共に、それを、通信端末装置20が編集操作設定データにより許容される範囲内で改変可能にした。これにより、例えば、クリエイタの創作意図にかかわる基幹部分については改変を禁止することで、創作意図や創作作品としての価値の維持が保障される一方、基幹部分以外で、ユーザは、マルチメディアデータを自分のアイデアによって改変することで、新たなマルチメディアデータを創作したという創作達成感を得られる。また、MMTファイルがある程度完成した一種のテンプレートとして提供され、しかも編集操作設定データによって、可能な編集操作が明確にされて、編集時にそれが提示されるので、改変の自由度が大きすぎることがなく、慣れないユーザにとっても編集操作が容易であり、マルチメディアデータの利用価値が一層高まることが期待される。よって、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザには手軽な編集操作にて編集操作による創作達成感を与えることができる。

【0067】なお、通信端末装置20は通信機能を有し、MMTファイルを配信サーバ50から取得できるものとしたが、これに限るものでなく、編集機能を有すれば、通信機能は必ずしも有しなくてもよく、何らかの手段によりMMTファイルを取得できればよい。

【0068】なお、テンプレート作成装置10のMMTファイル生成機能を通信端末装置20に具備させるように構成してもよい。その場合は、生成したMMTファイル内の編集操作設定データも編集可能に構成し、編集操作設定データに改変を加えて、それを再度、元のMMTファイルに埋め込むことで、新たなMMTファイルを生成し、出力するようにしてもよい。

【0069】なお、本発明を達成するためのソフトウェアによって表される制御プログラム（本実施の形態では、図5の処理用のMMTファイル生成処理プログラム、図6の処理用のMMTファイル編集処理プログラム）を記憶した記憶媒体を、本システム（テンプレート作成装置10、通信端末装置20）にそれぞれ読み出すことによって同様の効果を奏するようにしてもよく、その場合、記憶媒体から読み出されたプログラムコード自体が本発明の新規な機能を実現することになり、そのプログラムコードを記憶した記憶媒体は本発明を構成することになる。また、プログラムコードを電送媒体（通信I/F等）を介して供給してもよく、その場合は、プロ

グラムコード自体が本発明を構成することになる。なお、これらの場合の記憶媒体としては、ROMのほか、フロッピー（登録商標）ディスク、ハードディスク、光ディスク、CD-ROM、CD-R/RW、磁気テープ、不揮発性のメモ리카ード等を用いることができる。

【0070】なお、本実施の形態では、図6のMMTファイル編集処理は通信端末装置20で行われるものとしたが、同様のMMTファイル編集処理を、通信端末装置20からの指示に基づき配信サーバ50が行うようにしてもよい。そのためには、MMTファイル編集処理プログラムを通信または記憶媒体を通じて配信サーバ50に格納しておき、配信サーバ50が通信端末装置20からのコマンドを受けて処理を進めるように構成すればよい。例えば、図6のステップS604、S606、S608、S609に相当する処理については、通信端末装置20に対して入力指示を促し、入力されたコマンドを送信させるように制御すればよい。そして、処理結果である編集済みのMMTファイルを通信端末装置20に送信するようにすればよい。なお、通信端末装置20では、編集途中のプレビューも可能である。

【0071】なお、同様に、配信サーバ50が、テンプレート作成装置10のMMTファイル生成機能を具備するように構成してもよい。その場合は、MMTファイル生成処理プログラムを通信または記憶媒体を通じて配信サーバ50に格納して実行されるようにすればよい。

【0072】なお、テンプレート作成装置10で生成、出力されたMMTファイルは、それ自体本発明を構成するが、これを記憶した記憶媒体も、媒体を問わず本発明を構成する。

【0073】

【発明の効果】以上説明したように、本発明の請求項1、7、12、14によれば、事後編集可能な範囲を規定して、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザに編集操作による創作達成感を与えることができる。

【0074】本発明の請求項8、13、15によれば、予め規定した範囲での編集操作を許容して、テンプレートとしての創作意図を維持しつつユーザには手軽な編集操作にて編集操作による創作達成感を与えることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施の形態に係るテンプレートファイル配信システムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】 テンプレート作成装置の内部構成を示すブロック図である。

【図3】 通信端末装置の内部構成を示すブロック図である。

【図4】 MMTファイルの構成を示す概念図である。

【図5】 テンプレート作成装置で実行されるMMTフ

ファイル生成処理のフローチャートを示す図である。

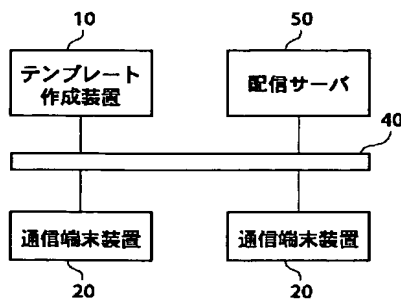
【図6】 通信端末装置で実行されるMMTファイル編集処理のフローチャートを示す図である。

【符号の説明】

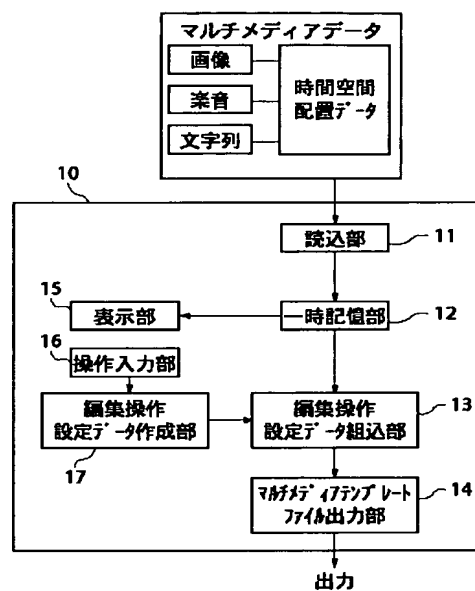
10 テンプレート作成装置（テンプレートファイル作成装置）、11 読込部（マルチメディアデータ取得手段）、13 編集操作設定データ組込部（テンプレートファイル生成手段）、17 編集操作設定データ作成部（設定データ作成手段）、20 通信端末装置（テンプレートファイル編集装置）、21 制御部（デ

ータ改変手段）、22 通信I/F（テンプレートファイル取得手段、代替メディアデータ取得手段の一部）、23 内部記憶装置、24 操作子（編集操作受付手段）、25 一時記憶部、26 再生制御部、27 局所通信部（代替メディアデータ取得手段の一部）、28 外部記憶装置（代替メディアデータ取得手段の一部）、30 画像表示部（提示手段）、40 通信回線、50 配信サーバ（テンプレートファイル配信サーバ）

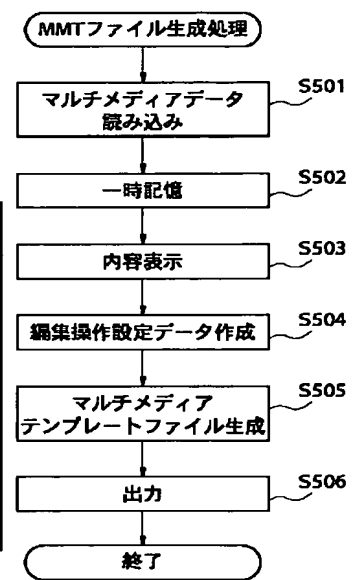
【図1】



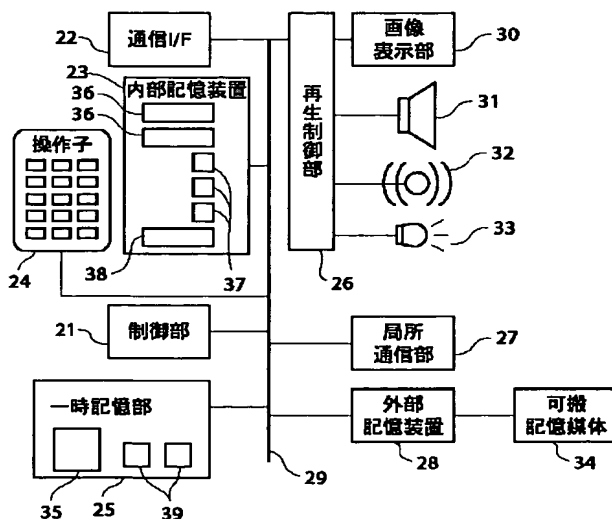
【図2】



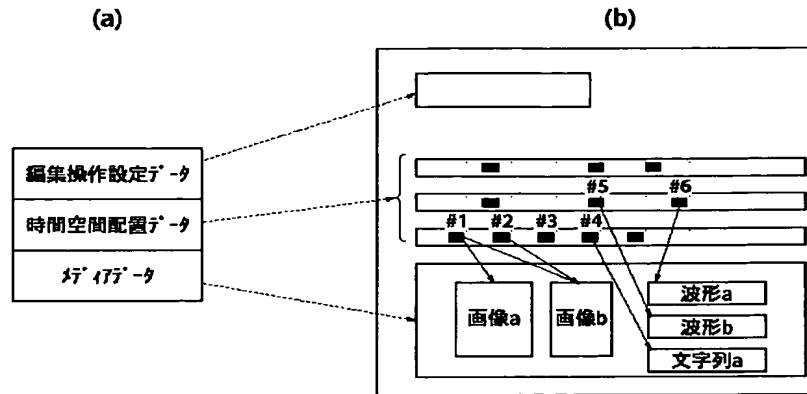
【図5】



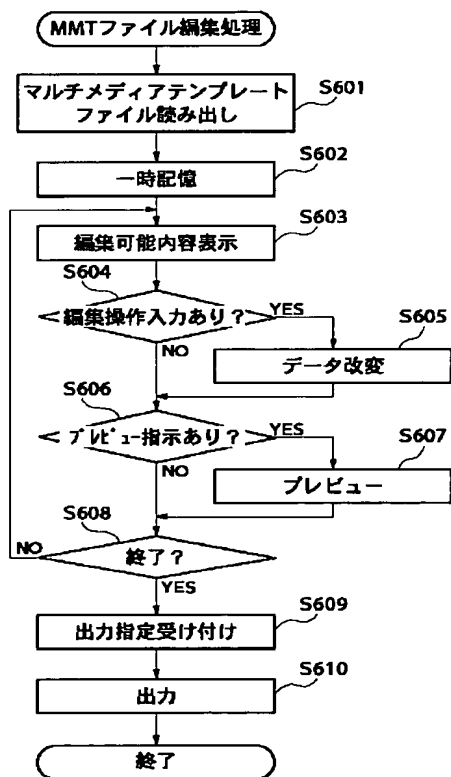
【図3】



【図4】



【図6】



フロントページの続き

(72)発明者 山浦 敦
静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式
会社内

(72)発明者 藤島 琢哉
静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式
会社内

(72)発明者 野口 あかね
静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式
会社内

(72)発明者 高橋 拓弥
静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式
会社内